

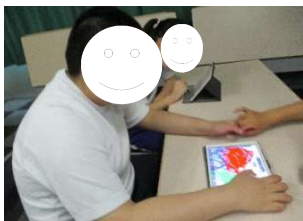



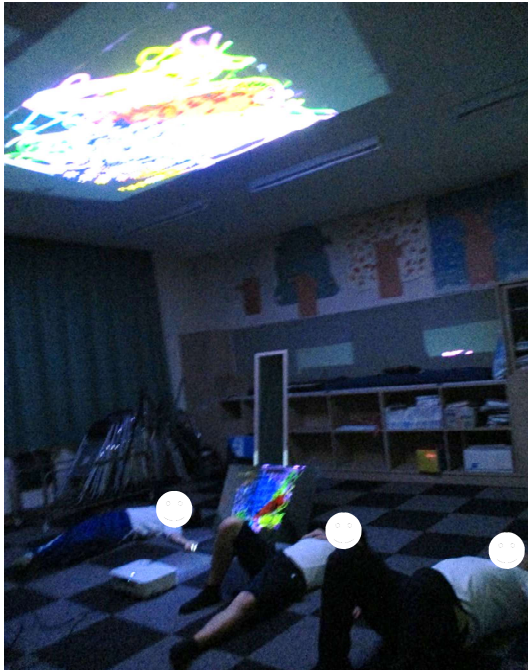


ICT活用シート

<題材名> 紙粘土でつくろう		<作成者>
<教科> 図画工作	<学年、学習集団> 小学部5年	<使ったアプリケーション> keynote、キラキラ、iMovie
<授業計画> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物と乗り物を題材に作りたいものを制作する。 ・作ったものをカメラ機能で撮影する。 ・粘土の写真とキラキラで作った絵を組み合わせて作品を作る。 ・keynoteやiMovieを使って作品にアニメーションをつけて鑑賞する。 		
<教材や授業の様子の写真> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		
<工夫した点> <ul style="list-style-type: none"> ・作り方の動画を用意して、テレビが見やすいように児童の席の場所を変えながら授業を進めた。 ・鑑賞としてiPadを使い作品にアニメーションをつける時間を設けた。 ・アニメーションが行いやすいよう素材は児童の興味があるものを事前に用意しておいた。 		
<ICT機器を活用したことによって感じられたメリットや成果> <ul style="list-style-type: none"> ・作り方の動画を見せることで、それを見ながら作品を作れる児童もいた。 ・導入でアニメーションをつけた作品を見せることで興味をもたせることができた。 ・鑑賞の幅が広がった。実際に児童にアニメーションをつける時間を設けることで、興味をもち意欲的に取り組んでいた。 		
<課題、改善点> <ul style="list-style-type: none"> ・作り方の動画に言葉を入れたほうが分かりやすかった。 ・作り方をテレビで見せていたが、作っている間に次のパーツに進んでしまっていたので自分で操作できる児童には操作をさせながら制作できるとよかった。 ・児童が音楽室などに行って動画を撮影する時間があるとよかった。 		

ICT活用シート

<題材名> きらきらスクラッチ		<作成者>
<教科> 美術	<学年、学習集団> 中学部3年	<使ったアプリ> キラキラ、ibisPaintX
<授業計画（できるだけ具体的に）> 小会議室で行う。 アプリibisPaintXを活用し、重ね塗りのイメージを導入として経験する。 作成できた後はプロジェクターを用いて天井にシアターを映し、ゆったりした雰囲気鑑賞できるようにする。		
<教材の写真や授業の様子の写真>		
↓作成中の様子	↓完成作品	↓天井シアター鑑賞の様子
  	  	
<工夫した点> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態でタッチペンと指で描画方法を分けた。 紙のスクラッチと似ている部分と、iPadでしかできない部分を説明し、次時以降の制作にもつながるよう意識した。 アプリ説明で簡単に制作し、一緒に操作する場面を設け、見通しが持てるようにした。 楽な気持ちで鑑賞できるように、天井に作品を投影した。拡大機能を交えながら鑑賞し、意見を求めた。 		
<ICT機器を活用したことによって感じられたメリットや成果> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな色を使って下地を塗る→黒で塗りつぶす場面については、次時以降紙でスクラッチをやる活動にもつながった。 導入としてiPadを取り入れたことで、失敗→訂正が容易にでき、何度も繰り返し取り組めた。紙でやるスクラッチでも使いたい色や進め方の見通しにつながった。 天井シアターは教室ではできないので、生徒も興味をもって見ていた。鑑賞の形にも色々あると思うが、リラックスして作品に集中する姿が見られた。 		
<課題、改善点> <ul style="list-style-type: none"> タッチペンを使うことや、タップやドラッグ等の技術を駆使して作品作成することが難しい生徒への支援が難しい。拡大機能を使って部分的に描けるようにしたり、塗りつぶしたり等の技法を使うと、より主体的に参加できるかもしれない。 iPadを使った作品作りとして、描画アプリを活用してもっと繊細な作品作りに生かしていきたい。 		